

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和8年4月28日（火曜日）

10時00分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 事務局報告（公開）

（1）令和8年度在外教育施設派遣等教員新規派遣について

（教職員課）

（2）令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験について

（教職員課）

（3）令和8年度佐賀県立高等学校・県立中学校入学者数について

（学校教育課）

（4）令和9年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施日程について

（学校教育課）

（5）令和9年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜実施日程について

（学校教育課）

（6）全国産業教育フェア佐賀大会の進捗状況について

（学校教育課）

（7）令和7年度全国高等学校選抜大会等上位入賞者について

（保健体育課）

（8）次回定例教育委員会について

令和8年5月25日（月）10時00分～

（教育総務課）

4 付議（非公開）

付議第1号議案

令和8年度佐賀県教科用図書選定審議会の諮問内容について

（学校教育課）

5 事務局報告（非公開）

（1）令和8年度佐賀県教科用図書選定審議会の委員の任命について

（学校教育課）

（2）佐賀県立学校生徒の修学旅行時の事故に関する第三者調査委員会について

（生徒支援室）

6 閉会

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和8年3月27日（金曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 甲斐教育長、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、溝上委員、原岡副教育長、江島教育危機管理・広報総括監、横田副教育長、川崎教育総務課長、野口教職員課長、山口学校教育課長、高山生徒支援室長、江口保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

(1) 開 会 10時00分

(2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

(3) 議事

【付第49号議案】

令和8年度佐賀県教育施策実施計画について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（川崎教育総務課長）

資料49-1をご覧ください。令和8年度佐賀県教育施策実施計画についてご説明する。

「教育施策実施計画」は、県教育の理念である「教育大綱」や、県の各分野における施策をとりまとめた「佐賀県施策方針」のもと、教育委員会の具体的な取組をまとめた計画として、毎年度策定している。本計画では、5本の施策の柱を掲げ、様々な取組を記載している。令和8年計画案は、基本的に令和7年度の内容を継続しつつ、新規に取り組む事業等の内容を盛り込んでいる。また、教育委員から事前にいただいたご意見も踏まえた内容としている。では、昨年度からの主な変更点を中心に説明する。

資料49-3をご覧ください。柱Ⅰ「志と誇りを高める教育の推進」を説明する。主な内容として、③の中に「探究学習の充実」として、県全体を学びのフィールドとして地域等と連携し探究学習の充実を図る旨を新たに記載した。

資料49-5をご覧ください。柱Ⅱ「自分らしく学べる「さがん学び」の推進」を説明する。子どもたちへのきめ細やかなサポートとして、①の中の「少人数学級等の推進」に、国に先駆けた中学2年生への少人数学級の導入を記載している。また、同じく①に「学校主体の改革を支える伴走支援」として、校長のリーダーシップのもと、教職

員が主体的に考え、行動しながら学校運営に取り組めるよう、伴走支援体制を構築する旨を新たに記載した。

資料 49-8 をご覧いただきたい。柱Ⅲ「健やかな佐賀の子どもを育む教育の推進」を説明する。昨年度から引き続き、④に SAGA BUKATSU PROJECT の推進として、持続可能な部活動に向けた改革の推進やスポーツ活動の活性化等について記載している。

資料 49-10 をご覧いただきたい。柱Ⅳ「誰もが安心して学べる「さがすたいるスクール」の推進」を説明する。昨年度から引き続き、④の中で、「教育相談体制の充実」として、児童生徒の悩みに組織的に対応する「チーム学校」としての体制を整え、相談しやすい環境づくりに取り組む旨を記載している。

資料 49-12 をご覧いただきたい。柱Ⅴ「教育DXの推進と学びを支える環境づくり」を説明する。②の「教職員の負担軽減」として、教職員が本来取り組むべき業務に集中できるよう「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づく各種施策を推進することや、資料 49-14 の⑤で、「学校施設の整備促進」として、県立学校体育館への大型スポットクーラーの導入や普通教室棟トイレの洋式化について新たに追記した。

資料 49-15 からは、R8 年度に取り組む主な予算事業の一覧を掲載している。以上が令和 8 年度計画の概略。承認をいただいたら、文言等を再度確認の上、ホームページに公表し 5 月中旬から順次、県内すべての教職員に本実施計画の冊子を配布する予定である。以上、審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(裕)委員)

1 クラス 35 人でもまだまだ多いと思っている。ある小学校の校長先生からは一番運営しやすいのは 24 人と言われていた。

また、資料 49-11 のところで、不登校が問題となっている。チーム学校の中で「コミュニティスクール」を広げて行っていて、色んなところに委嘱・委嘱の範囲を広げてもいいのではないかと思う。個人情報の取り扱い等の問題はあると思うが、不登校の児童・生徒の状況とかを共有して、コミュニティスクール等で担えたらいいと思う。なお、私個人で個別に入学式の服や自転車の準備ができなかった子たちの支援とかを行っている。気軽に地域に相談できる学校づくり・体制をつくっていただきたいと思っている。

(荒木委員)

指標はどうなっているのか。

(川崎教育総務課長)

これに指標はつかないが、外部評価に入っていた方には指標を見せて、ご意見を色々いただいて、指標の設定やそれに対するご意見とかはいただいている状況である。

(荒木委員)

予算が決まっているのに、何を目標に、ゴールにしているのか見えてこない。この予算で合っているかどうかを確認するときに、指標がないのは分かりにくいと感じた。指標の触りだけは知っておきたい。来年度以降に参考にさせていただきたい。

【付第 50 号議案】

公益信託に関する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則の制定について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 50-2 をご覧いただきたい。公益信託に関する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則の制定についてご説明する。

資料 50-2 に概要を記載している。そもそも公益信託とはということであるが、これは個人や団体が契約や遺言で財産を受託者に託し、受託者が、委託者の意思に沿った公益目的の事業を実施する制度である。現行制度では、(信託銀行など) 受託者が公益信託を引き受ける場合等は、法律により主務官庁の許可を受ける必要がある。現在、教育委員会が主務官庁として所管している公益信託が 2 件ある。(信託の引受け許可や運営の監督を行ってきた)

1 つは、県内の交通遺児等を対象にした奨学金で「山下義彦・加壽子記念交通遺児育英奨学基金」もう 1 つは、武雄北中学校区内に居住する高校生を対象とした奨学金で「山口弘雄記念奨学基金」公益信託は、制度が分かりにくいことなどから、全国的に十分活用されているとは言えない状況がありました。このため法律が改正され、4 月から新しい公益信託制度が施行されます。新制度では、公益法人と共通の枠組みで公益信託の認可・監督を行うこととされ、その権限は、知事に移行されます。これに伴い、今回、関係規則の改廃を行うものである。

資料 50-2 の下段に書いているとおり、公益信託に関する規定を削る規則が 2 つ、廃止する規則が 2 つある。施行日はいずれも令和 8 年 4 月 1 日である。なお、今後、公益信託事務は法務私学課で行われるため、教育総務課で所管している 2 つの公益信託も、法務私学課に引継ぐことになる。

【付第 51 号議案】

教育委員会事務局専決規程の一部改正について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 51-2 をご覧いただきたい。教育委員会事務局専決規程の一部改正についてご説明する。

先ほど説明したとおり、公益信託が知事所管になることから、教育委員会事務局専決規程から公益信託に係る規定を削除するものである。施行日は令和 8 年 4 月 1 日である。

【付第 52 号議案】

佐賀県教育委員会聴聞規則の一部改正について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 52-2 をご覧いただきたい。佐賀県教育委員会聴聞規則の一部改正についてご説明する。

行政庁が不利益処分をしようとする場合、行政手続法及び行政手続条例の規定に基づき、相手方に意見陳述の機会を与えなければならない。

そのうち、「聴聞」に係る手続を定めた「佐賀県教育委員会聴聞規則」について、今回、行政手続法及び行政手続条例の改正に伴い、引用条項を改めるものである。

改正の内容は記載のとおり形式的なものであるが、参考までに、制度がどう変わるか簡単に説明する。処分の相手が所在不明の場合の聴聞通知について、これまでは行政庁の掲示板に紙を掲示し、2 週間経過すると通知が届いたものとみなされていた。制度改正により、今後は、インターネットで公表した上で、庁舎に紙又は電子画面で掲示すれば、これまでと同様 2 週間後に相手方に通知が届いたものと扱われる。本規則の施行日は令和 8 年 5 月 21 日である。

【付第 53 号議案】

佐賀県教育委員会に係る行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 53-2 をご覧いただきたい。佐賀県教育委員会に係る行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正についてご説明する。

住民が県に対して行う行政手続のデジタル化を推進する「佐賀県行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」という条例があり、本規則は、条例を受け、教育委員会に係る行政手続のデジタル化について定めたものである。

今回、本規則で引用している条例及び知事部局の規則改正に伴い、規則の題名を改めるとともに、必要な改正を行うものである。蛇足だが、何がどう変わるか簡単に内容を説明すると、今回の改正により、住民等が県に対して申請や届け出をする際、住民票や商業・法人登記事項証明書の提出が必要なものについては、書類ではなく、マイナンバーカードの提示や電子証明書等で可となるものである。施行日は令和 8 年 4 月 1 日である。

【付第 54 号議案】

佐賀県教育委員会事務局組織規則等の一部改正について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 54-2 をご覧いただきたい。佐賀県教育委員会事務局組織規則等の一部改正についてご説明する。本件は、教育委員会事務局組織の機構改革等に伴う関係規程の改正になる。

令和 8 年 4 月 1 日組織体制（案）である。資料上段に記載のとおり、4 月 1 日付けで、教育委員会事務局に、課長級の政策企画監の職を新たに設置する。目的は、所属の垣根にとらわれず、政策企画監を中心に、事務局全体として、政策・企画の立案・調整を図る体制を構築するものである。そのため、「政策企画監」は特定所属ではなく事務局に配置する。

次に、教育総務課に新たに「教育企画チーム」を設置します。このチームは、政策企画監とともに、事務局全体に係る政策・企画の推進等の業務を行うこととなる。その他、教育DX推進グループ内の担当名の変更、鳥栖特別支援学校の開校に伴い、特別支援教育室内の開校準備担当を廃止する。

以上を踏まえた、規則の改正（案）の概要が、資料 54-3 となる。下段の改正の内容の 1 つは、先ほど説明した政策企画監を新たに置くことに伴う改正です。3 番にあるのは、教育総務課に新設する「教育企画チーム」に、指導主幹を配置できるよう改正を行うものである。その他、2 番に書いている、教職員課及び保健体育課の分掌事務について、文言整理を行うなど、所要の改正を行う。

次に、資料 54-7 をご覧いただきたい。機構改革に伴う関係訓令の改正（案）になる。課長の定義に課長級である政策企画監を加えるなどの改正を行う。なお、規則等の新旧対照表を、資料 54-4 から 6 及び 64-8 から 10 にお付けしている。

【付第 55 号議案】

佐賀県教育センターの管理に関する規則の一部改正について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(川崎教育総務課長)

資料 55-2 をご覧いただきたい。佐賀県教育センターの管理に関する規則の一部改正についてご説明する。

改正理由は、今度の 2 月議会で、職員の勤務時間、休暇等に関する条例が改正されたことに伴い、所長の専決事務と規定している「生理休暇」の名称を「フェムケア休暇」に改正するものである。

なお、フェムケアとは、female と care を足した造語で、女性特有の健康問題に対するケアを意味し、休暇を取得しやすくするための名称変更になる。

また、所長が専決できる職員の病気休暇の日数についても、知事部局にあわせて必要な見直しを行う。

なお、先ほどの付第 54 号議案の中でも、その他の改正として、「教育委員会事務局専決規程」において、同様の改正を行うこととしている。施工日は令和 8 年 4 月 1 日である。

【付第 56 号議案】

教育職員免許状に関する規則を一部改正する規則（案）について

このことについて、議案書により野口教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（野口教職員課長）

資料 56-2 をご覧いただきたい。教育職員免許状に関する規則を一部改正する規則（案）についてご説明する。

教育職員免許状にかかる各種申請の様式を、同規則で定めているが、今回、4 つの改正をする。

1 つ目は、履歴書（様式第 3 号）で記入を求める「学歴」について、“小学校入学から”となっているものを、“高等学校入学から”に修正する。教育職員免許の取得要件は“高等学校卒業”であるため、記入を求める範囲も“高等学校入学から”に改正するものである。

2 つ目は、人物に関する証明書（様式第 4 号）から「長所・短所」の欄を削除する。教育職員免許状の検定による授与^{*}において、申請者が免許状授与に値する人物であるか否かを確認するために、当該証明書を求めているが、適任者か否かは「長所・短所」以外の他の「観察の区分」で判断ができるためである。

3 つ目は、教育職員免許状紛失届（様式第 13 号の 2）を削除する。現行では、教育職員免許状の再交付願（様式第 13 号）に加えて、紛失届（様式第 13 号の 2）の提出を求めているが、再交付願と紛失届の双方に、同じ内容の記載を求めていた箇所が複数あった。このため、必要な内容を再交付願の 1 枚にまとめる。資料 56-5 の 3 と 4 に 1 枚にまとめて記載することとする。

4 つ目は、1 枚にまとめた新様式も含めて、教育職員免許状再交付願（様式第 13 号）及び教育職員免許状授与証明願（様式第 14 号）から、「授与権者」の欄を削除する。再交付や授与証明の申請ができるのは、授与を受けた都道府県教育委員会であり、佐賀県教育委員会に申請されるものは、当然に、「授与権者」欄に『佐賀県教育委員会』と記入されることから、当該欄は不要であるためである。なお、今回の改正による施行期日は公布の日からの施行を予定している。

【付第 57 号議案】

佐賀県教育委員会事務局及び公立学校その他の教育機関に勤務する会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則（案）について

このことについて、議案書により野口教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(野口教職員課長)

資料 57-2 をご覧いただきたい。佐賀県教育委員会事務局及び公立学校その他の教育機関に勤務する会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則（案）についてご説明する。

この規則案は、佐賀県公立学校職員給与条例が改正され、自転車等を使用する場合の通勤手当の上限額が月額 52,000 円に引き上げられたことに伴い、会計年度任用職員の通勤手当相当となる費用弁償の上限額を改正するものである。会計年度任用職員の費用弁償は日額支給となるため、通勤手当の月額上限額である 52,000 円を 21 日で割った金額に改正する。施行期日につきましては、令和 8 年 4 月 1 日からである。

【付第 58 号議案】

市町立学校学級編制基準（案）について

このことについて、議案書により野口教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(野口教職員課長)

資料 58-2 をご覧いただきたい。市町立学校学級編制基準（案）についてご説明する。

市町立学校の学級編制基準については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（以下、「義務標準法」という。）」の第 3 条第 2 項において、都道府県の教育委員会が「義務標準法」で定められている学級編制の「標準」をもとに定めることになっている。それでは、令和 8 年度の学級編制基準（案）について説明する。

小学校（義務教育学校前期課程も含む）については、令和 7 年度からの変更はない。

中学校（義務教育学校後期課程も含む）について、佐賀県では、令和 7 年度、国より 1 年先行する形で、中学校第 1 学年の学級編制基準を 35 人としていた。令和 8 年度から国が中学校第 1 学年の 35 人学級を実施する動きであることに伴い、本県では、第 1 学年及び第 2 学年を 35 人、第 3 学年を 40 人とする。

県では、令和 8 年度の中学校第 2 学年において、1 学級あたりの生徒数が 35 人を超える対象校に対して、独自に教員を加配し、35 人以下学級を実現していくこととなった。今回の「基準（案）」は、そのことを示したものとなっている。

【付第 59 号議案】

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）について

このことについて、議案書により山口学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(山口学校教育課長)

資料 59-2 の改正の理由をご覧いただきたい。佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）について、説明する。

生徒が他の高等学校及び同一の高等学校に置かれている課程間の併修（学校間連携等）において科目の単位を修得したときに、全課程の修了に必要な単位数に加えることができるようにする等、必要な規定を設けるため、佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する。

続いて資料 59-2 の改正の概要をご覧いただきたい。改正の概要としては、1 から 4 の 4 点でございます。「1」に記載しております学校間連携等とは、「学校間連携」、「同一校内の課程間併修」、「定通併修」を併せて表現する言葉である。『佐賀県立学校の管理に関する規則（以下、県の規則）』には「定通併修」に関する規定だけを記載していた。「学校間連携」、「同一校内の課程間併修」については、県の規則の上位法にあたる学校教育法施行規則に規定されていたため、運用可能と整理していた。しかし、学校における柔軟な教育課程の編成を推進すること、及び、生徒の多様な学習ニーズ[※]に対応できるようにすることを目的として、改めて県の規定に明記することとした。

改正の概要の「2」については、「1」の内容を追加することに伴い、定通併修に係る条文を移行したことによるものである。定通併修に係る規程を県の規則から削除したわけではない。

改正の概要の「3」に記載している、高等学校卒業程度認定試験合格科目の単位認定についても、学校間連携等と同様に、学校教育法施行規則において規定されておりましたので運用可能と整理しておりましたが、「1」の追加と合わせて、県の規則に明記することとした。

次に資料 59-3 の新旧対照表を用いながら、資料 59-2 の改正の概要の順番に沿って説明する。資料 59-4 をご覧いただきたい。改正後の第 31 条 1 項、2 項が今回の改正で新規に追加した規定である。1 項が学校間連携に関すること、2 項が同一校内の課程間併修に関するにあたる。3 項、4 項は、それぞれ改正前の第 32 条 3 項、4 項にあたる。なお、第 31 条 1 項の学校間連携については、特別支援学校高等部についても対象となるので、同条 5 項として準用規定を追加している。改正前の第 25 条については、定通併修の実施手順に関する規定であり、定通併修の実施については別途規定があるので、県の規則からは削除することとした。

続いて、改正後の第 28 条 2 項については、改正後の第 31 条 5 項（特別支援学校の準用規定）を追加したことによって追加した規定、また、2 項（4）が今回の改正で新規に追加した高等学校卒業程度認定試験合格科目の単位認定に関する規定である。ご審議お願いしたい。

（4）事務局報告

① 川崎教育総務課長は令和 8 年 2 月定例県議会における主な質問事項について、資料に基づき次のとおり報告した。

（川崎教育総務課長）

資料 1-1 をご覧いただきたい。令和 8 年 2 月定例県議会は、2 月 13 日（金）から 3 月 16 日（月）までの 32 日間で行われ、教育関係議案は原案どおり可決された。

教育委員会関係の質問については、ご覧のとおり、代表質問で、教育行政など3名の議員から2項目、一般質問で、高校教育改革など8名の議員から9項目、文教厚生常任委員会で、未来につながる高校教育など3名の委員から4項目の質疑が行われた。

② 江口保健体育課長は第80回国民スポーツ大会冬季大会の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口保健体育課長)

資料2-1をご覧ください。第80回国民スポーツ大会冬季大会の結果について報告する。令和8年2月14日(土)から令和8年2月17日(火)に青森県の大鰐温泉スキー場にて開催された当大会にて、スキー競技(ジャイアントスラローム)で少年男子、敬徳高校・古賀選手、佐賀市立城北中学校・江上選手、少年女子、鹿島高校・栗原選手が出場している。結果については、表のとおりとなっている。

③ 川崎教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(川崎教育総務課長)

次回定例教育委員会は、4月28日火曜日10時00分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

(5) 議事

【付第60号議案】

佐賀県教育委員会業務量管理・健康確保措置実施計画について

このことについて、議案書により野口教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第61号議案】

いじめ問題対策委員会からの調査報告書(答申)を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第62号議案】

いじめの重大事態の調査報告書を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(6) 事務局報告

① 野口教職員課長は令和8年度スーパーティーチャーの認証について(人事)、資料に基づき報告した。

② 野口教職員課長は教職員人事異動の概要について、資料に基づき報告した。

③ 山口学校教育課長は令和 8 年度佐賀県立中学校入学予定者数について、資料に基づき報告した。

(7) 閉 会 11 時 30 分

令和8年4月定例教育委員会資料

(令和8年4月28日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

令和8年度 在外教育施設派遣等教員新規派遣について

学校名	職名	派遣者氏名	年齢	派遣期間	派遣先
鹿島市立明倫小学校	教諭	黒岩 春穂	37	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	クアラルンプール 日本人学校 (マレーシア)
有田町立有田小学校	教諭	加藤 夏実	37	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	ドバイ日本人学校 (アラブ首長国連邦)

以上 2名

(年齢:R8. 4. 1現在)

令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験について

令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験(令和8年度実施)を、別添実施要項により実施します。実施要項を佐賀県教育委員会のホームページに公表するとともに、配布を行います。

記

1 令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の試験期日・会場

ア 第一次試験

期日 令和8年6月14日(日曜日)

会場 県立佐賀西高等学校、県立佐賀北高等学校

イ 第二次試験

期日 令和8年7月25日(土曜日)・26日(日曜日)

会場 県立致遠館高等学校、県立佐賀商業高等学校

ウ さが UJI ターン特別選考及びスポーツ・芸術特別選考の期日・会場等は、実施要項で確認してください。

エ 令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験・秋選考は令和8年11月14日(土曜日)、15日(日曜日)に実施予定です。

詳細については、ホームページ及び実施要項で8月に公表予定です。

2 令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の概要

(1) 採用予定者数及び試験実施教科

試験区分		試験実施教科(科目)及び教科別採用予定者数							
小学校教諭等		—					150名程度 (前年度 200 名程度)		
中学校教諭等		国語	20 名程度	音楽	5 名程度		115名程度 (前年度 123 名程度)		
		社会	15 名程度	美術	5 名程度				
		数学	20 名程度	保健体育	7 名程度				
		理科	20 名程度	技術	3 名程度				
		英語	17 名程度	家庭	3 名程度				
高等学校教諭等		国語	5 名程度	芸術	音楽	1 名程度	55名程度 (前年度 50 名程度)		
		地理 歴史	日本史		1 名程度	美術		3 名程度	
			世界史	1 名程度	家庭	3 名程度			
			地理	2 名程度	農業	農業		2 名程度	
		数学	6 名程度	工業	機械	5 名程度			
		理科	物理		1 名程度	電気		5 名程度	
			化学		2 名程度	土木		1 名程度	
			生物		2 名程度	セラミックス		1 名程度	
		英語	6 名程度	商業	4 名程度				
		保健体育	3 名程度	情報	1 名程度				
特別 支援 学校 教諭 等	小学部	—					10名程度		
	中学部	教科は問わない					12名程度		
	高等部	教科(科目)は問わない					12名程度		
養護教諭等		—					5名程度 (前年度 8 名程度)		

※ 特別支援学校教諭等（中等部、高等部）は、教科（科目）を問わず出願できます。

(2) 選考試験実施要項等の配布

ア 配布期間

令和8年3月27日（金曜日）～5月7日（木曜日）

イ 配布場所

佐賀県教育委員会事務局教職員課	佐賀市城内1-1-59 県庁旧館2F (TEL0952-25-7212)
行政の窓口	佐賀市城内1-1-59 県庁新館1F (TEL0952-25-7010)
東部教育事務所	佐賀市中央本町1-10 ニュー寺本ビル2F (TEL0952-30-7218)
西部教育事務所	武雄市武雄町昭和265 総合庁舎2F (TEL0954-23-3125)
西部教育事務所北部支所	唐津市二夕子3-1-5 総合庁舎1F (TEL0955-73-1331)
佐賀県首都圏事務所	千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11F (TEL03-5212-9073)
佐賀県関西・中京事務所	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9F (TEL06-6344-8031)

- ※ 土曜日、日曜日の配布は、行政の窓口のみで行います。
- ※ 各大学の事務室等にも送付しておりますので、御確認ください。
- ※ 郵便で請求する場合は、宛先を明記し、180円切手を貼った角2封筒を同封してください。
- ※ 請求先 〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
佐賀県教育委員会事務局 教職員課
小中学校人事担当又は県立学校人事担当

(3) 受験申込みの受付

ア 受験申込みの手続き

原則、電子申請（佐賀県電子申請サービス）でのみ受け付けます。

- ※ 特別な事情により、電子申請ができない場合は、教職員課へお問い合わせください。

[問い合わせ・受付場所]

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
県教育委員会事務局教職員課(県庁旧館2階)
電話0952-25-7212

イ 受付期間

令和8年4月9日（木曜日）～5月7日（木曜日）まで
（郵送の場合は、締切日当日の消印有効）

3 令和9年度選考試験の主な変更点

（1）第二次試験の日程を変更します。

- これまで最大4日間で実施していた第二次試験を2日間で実施します。
- 自身の強みを最大限アピールしていただけるよう、小論文からエントリーシートに変更します。

（2）特別支援学校教諭等の試験区分を変更します。

- 特別支援学校教諭等は小学部・中学部・高等部、それぞれで募集します。

（3）より多様な併願が可能になります。

- 「小学校教諭等」と「特別支援学校教諭等（小学部）」
「特別支援学校教諭等（中学部）」と「特別支援学校教諭等（高等部）」
の併願が可能となります。

※ 詳しくは、令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験実施要項でご確認ください。

4 令和9年度教員採用選考試験オンライン説明会を実施します。

日 時：令和8年4月9日（木曜日）18時から

申し込み：ホームページ（令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験に関する総合案内）から

令和8年度佐賀県立高等学校・中学校入学者数

1 県立高等学校課程別入学者数

(人)

課 程	項 目	令和8年度	令和7年度	前年度との比較
全日制	募集定員	5,720	5,720	0
	入学者数	5,205	5,305	-100
定時制	募集定員	280	280	0
	入学者数	71	56	15

2 県立中学校入学者数

(人)

項 目	令和8年度	令和7年度
募 集 定 員	420	480
入 学 者 数	420	480

※ 募集定員の変更

学 校 名	学 科 名	令和8年度 募集定員	令和7年度 募集定員
唐津青翔高校	総合学科、eスポーツ学科	80	80(※1)
佐賀工業高校 (定時制)	機械科、情報科	40	40(※2)

※1 総合学科

※2 機械科、電気科

令和8年度佐賀県立高等学校・中学校入学者数

(人)

番号	高等学校名	学科名	募集定員		入学者数	
			学科別	学校別	学科別	学校別
1	鳥 栖	普通科	240	240	239	239
2	三養基 神 埼	普通科	200	200	200	200
		普通科 普通科 こども教育進学コース	120	120	93	93
4	佐賀東	普通科 スポーツ科	220	220	159	159
5	佐賀西	普通科	280	280	280	280
6	佐賀北	普通科	240	280	240	280
		芸術科	40		40	
7	致遠館	普通科	120	240	120	239
		理数科	120		119	
8	小 城	普通科	200	200	200	200
9	唐津東	普通科	240	240	240	240
10	唐津西	普通科 地域探究進学コース 学際探究進学コース	160	160	149	149
11	厳 木	普通科 (総合評価枠)	40	80	40	80
		普通科 (重点評価枠)	40		40	
12	伊万里	普通科 MIRAI進学科	160	160	144	144
13	武 雄	普通科	240	240	240	240
14	白 石	普通科	120	190	98	158
		商業科	35		60	
		情報ビジネス科	35			
15	鹿 島	普通科 文理探求進学コース 未来探求進学コース	160	240	70	138
		商業科	40		34	
		食品調理科	40		34	
16	太 良	普通科 (総合評価枠)	40	80	30	68
		普通科 (重点評価枠)	40		38	
17	牛 津	生活経営科	40	120	34	98
		服飾デザイン科	40		24	
		食品調理科	40		40	
18	高志館	食品流通科	40	120	28	69
		園芸科学科	40		27	
		環境緑地科	40		14	
19	唐津南	生産技術科	40	120	40	120
		食品流通科	40		40	
		生活教養科	40		40	
20	伊万里実業	生物科学科	40	190	32	168
		森林環境科	30		27	
		フードビジネス科	40		38	
		商業科	40		40	
		情報処理科	40		31	
21	佐賀農業	農業科学科	40	120	40	120
		食品科学科	40		40	
		環境工学科	40		40	

番号	高等学校名	学科名	募集定員		入学者数	
			学科別	学校別	学科別	学校別
22	鳥栖工業	機械科	80	240	79	224
		電子機械科	40		36	
		電気科	40		40	
		建築科	40		29	
		土木科	40		40	
23	佐賀工業	機械科	40	240	40	240
		機械システム科	40		40	
		電気科	40		40	
		電子科	40		40	
		情報システム科	40		40	
		建築科	40		40	
24	唐津工業	機械科	40	160	40	121
		電気科	40		37	
		建築科	40		28	
		土木科	40		16	
25	有田工業	機械科	40	160	39	138
		電気科	40		36	
		セラミック科	40		32	
		デザイン科	40		31	
26	嬉野	機械科	40	160	40	129
		電気科、建築科	40		36	
		総合学科	80		53	
27	鳥栖商業	商業科	80	160	101	141
		流通経済科	40		40	
		情報管理科	40			
28	佐賀商業	商業科	160	240	200	240
		グローバルビジネス科	40		40	
		情報処理科	40			
29	唐津商業	商業科	120	160	160	160
		会計科	40			
30	神埼清明	総合学科	160	160	160	160
31	多久	総合学科	120	120	93	93
32	唐津青翔	総合学科	80	80	57	77
		eスポーツ学科			20	
合 計			5,720	5,720	5,205	5,205

(2) 定時制課程

(人)

番号	高等学校名	学科名	募集定員		入学者数	
			学科別	学校別	学科別	学校別
1	鳥栖工業	普通科	40	80	6	21
		機械科、電気科	40		15	
2	佐賀工業	機械科、情報科	40	40	10	10
3	有田工業	セラミック科、デザイン科	40	40	11	11
4	佐賀商業	総合文化科	40	40	14	14
5	唐津商業	商業科	40	40	11	11
6	伊万里実業	商業科	40	40	4	4
合 計			280	280	71	71

(3) 県立中学校

(人)

番号	中学校名	募集定員	入学者数
1	香楠	105	105
2	致遠館	105	105
3	唐津東	105	105
4	武雄青陵	105	105
合 計		420	420

令和9年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施日程

1 特別選抜（全日制）

- 出願期間 令和9年1月26日（火）～令和9年1月27日（水）
- 学力検査等 令和9年2月2日（火）
- 合格者発表 令和9年2月8日（月）

2 一般選抜（全日制及び定時制）

- 出願期間 令和9年2月15日（月）～令和9年2月16日（火）
- 志願変更願 令和9年2月19日（金）～令和9年2月22日（月）
- 志願変更届 令和9年2月24日（水）
- 学力検査等 令和9年3月2日（火）～令和9年3月3日（水）
- 追検査等 令和9年3月8日（月）
- 合格者発表 令和9年3月10日（水）

3 佐賀北高等学校通信制

- 前期出願期間 令和9年2月26日（金）～令和9年3月12日（金）
- 出願の特例 令和9年3月18日（木）まで
- 前期合格者発表 令和9年3月23日（火）
- 後期出願期間 令和9年8月20日（金）～令和9年8月27日（金）
- 後期合格者発表 令和9年9月9日（木）

※ 県教育委員会が再募集を行うことが必要であると認めたときは、以下の日程で実施します。

- 出願期間 令和9年3月11日（木）～令和9年3月12日（金）
- 面接等 令和9年3月16日（火）
- 合格者発表 令和9年3月17日（水）

令和9年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜実施
日程について

令和9年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜実施日程（案）

1 出願期間

(1) インターネット登録

令和8年11月17日（火）から11月27日（金）まで

(2) 調査書等提出

令和8年12月 1日（火）から12月 3日（木）まで

2 適性検査等

令和9年 1月16日（土）

3 追検査等

令和9年 1月23日（土）

4 合格者発表

令和9年 1月27日（水）

（参考 令和8年度中高一貫教育校佐賀県立中学校入学者選抜日程）

1 出願期間

(1) インターネット登録

令和7年11月21日（金）から12月 1日（月）まで

(2) 調査書等提出

令和7年12月 2日（火）から12月 4日（木）まで

2 適性検査等

令和8年1月17日（土）

3 追検査等

令和8年1月24日（土）

4 合格者発表

令和8年1月28日（水）

令和8年4月定例教育委員会

事務局報告事項 学校教育課

第36回全国産業教育フェア佐賀大会の進捗状況について



開催まで あと、179日!



実行委員会を設立 (3.24)

県内だけでなく全国から!
大会を支える関係者が集合!



— 生徒実行委員が本気のプレゼン

“3つの挑戦”を宣言しました!

挑戦その1 全国高校生DI選手権大会

DI (デジタルイノベーション)
= デジタル技術で新たな価値を創造する。

デジタル技術とイノベーションを融合し、社会課題を解決する。そのための実践的スキルを身につけ、未来を拓く。

佐賀から始まる、令和のデジタル挑戦。

挑戦その2 特別支援学校によるメタバース

テクノロジーで「壁」を超える。
特別支援学校の生徒たちが、メタバース空間で学び、交流の場をつくりだす。

距離、障害、時間を超え、誰もが主役になれる「バリアフリーなDX」を佐賀から発信。

挑戦その3 第1回高校生ビジネスアイデアコンクール

佐賀大会を「決定版」へ
これまで以上に盛り上げる。佐賀大会から始まる新たな挑戦。全国の高校生が参加し、アイデアを競い合う。

競技の詳細が続々決定!

吉野ヶ里遺跡?佐賀を舞台にした ロボット競技大会



同時に 操作型・自立型の
2台のロボットでアイテムを集めて
得点を競う!



佐賀の海苔 × 選手地元の食材 クッキングコンテスト



時間、値段、材料の制限の中で、
その場で仕上げる本格ランチ対決!



秘密のお題 × 選手の感性 フラワーアレンジメント コンテスト



直前に与えられるお題・花材で即勝負、
目の前で生まれる花の作品!



令和7年度全国高等学校選抜大会等上位入賞者について

令和8年4月定例教育委員会
事務局報告事項 保健体育課

	順位	種別	氏名	所属・学年	SSP認定	備考
国際大会						
インドジュニアインターナショナルグランプリ2025	2位	女子シングルス	ながみち ゆりか 永瀧 友梨華	佐賀女子高校 3年	ライジング	
韓国ジュニアインターナショナルチャレンジ2025	3位	女子シングルス				
世界ジュニア選手権大会2025	3位	女子団体				
令和7年度全国高等学校総合体育大会						
第41回全国高等学校新体操選抜大会	優勝	男子団体	神埼清明高校		(ホープ) 樋口 諒 榎木 勇人 神崎 朋弥 中島 桜暉 塚本 瑞樹 松崎 煌 瀬長 琉維	2年ぶり7度目
第21回全国高等学校なぎなた選抜大会	優勝	女子団体試合	佐賀東高校		(ホープ) 田中 日菜剛 蒲原 ことは 外村 樹蘭 坂田 はなみ 塘 彩矢佳	12年ぶり3度目
	2位	女子個人試合	たなか ひまり 田中 日菜剛	佐賀東高校 3年	ホープ	
第27回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	3位	男子15人制	佐賀工業高校		(ライジング) 本田 隆成 (ホープ) 川島 湊多 宮崎 銀之助 北村 賢斗 岡田 拓 滝野 琉之介 野田 颯人 座本 歩人 森 一魁 岩本 陽斗 高山 昊大 横山 太一 木村 圭佑 江越 徠翔 石川 樟樹 岩本 浩志	
第29回全国高等学校少林寺拳法選抜大会	3位	女子団体演武	武雄高校		(ホープ) 菅原 夕貴 大久保 媛莉	
	優勝	女子自由組演武	とまはら ゆうき 菅原 夕貴	武雄高校 3年	ホープ	
	2位	男子規定単独演武	おおくぼ めぐり 末次 歩夢	武雄高校 3年	ホープ	
風間杯第69回全国高等学校選抜レスリング大会	優勝	男子92kg級	よしだ しゅう 吉田 修	鳥栖工業高校 2年	ライジング	
第54回全国高等学校選抜バドミントン大会	2位	個人対抗 シングルス	ながみち ゆりか 永瀧 友梨華	佐賀女子高校 3年	ライジング	
第37回全国高等学校ボクシング選抜大会	2位	男子バンダム級	つつい はやと 筒井 颯人	高志館高校 3年	ホープ	
第45回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会	3位	ビームライフル少年女子 立射60発競技	なば 真奈佳 馬場 真奈佳	佐賀学園高校 3年	ライジング	
第48回全国高等学校柔道選手権大会	3位	男子60kg級	ほうじん はる 寶神 陽	佐賀商業高校 3年	ホープ	
	3位	男子66kg級	ちやえん みなと 茶園 実人	佐賀商業高校 3年	ホープ	
	3位	女子63kg級	まつおか はんな 松岡 花樹	佐賀商業高校 2年	ホープ	
	3位	女子無差別級	ふじもと はるか 藤本 春菜	佐賀商業高校 3年	ホープ	

	順位	種別	氏名	所属・学年	SSP認定	備考
全国大会（高校）						
第19回 全日本テコンドー選手権大会	3位	男子 -58kg級	おかもと かい 岡本 佳依	テコンドークラブ Hama House 佐賀工業高校 3年	ライジング	
第10回 全国少年少女選抜テコンドー選手権大会	3位	ジュニア男子 -55kg級	えぐち ひろと 江口 大翔	本部道場 柳川高校 2年	ホープ	
第19回U18陸上競技大会	優勝	男子3000m	つじ りゅうのすけ 辻 竜之介	鳥栖工業高校 3年	ホープ	
	3位	男子3000mW（競歩）	はやし こうや 林 興也	鳥栖工業高校 3年	ホープ	
第44回全日本学生銃剣道選手権大会	優勝	短剣道個人戦 男子の部	しょうほう ひろき 正貴 洋輝	佐賀農業高校 3年		
第25回全日本短剣道大会	3位	団体戦 高校生の部	佐賀農業高校			
	3位	個人戦 高校生の部	しょうほう ひろき 正貴 洋輝	佐賀農業高校 3年		

	順位	種別	氏名	所属・学年	SSP認定	備考
全国大会（中学）						
第16回 全国中学選抜U15レスリング選手権大会	優勝	グレコローマンスタイル 62kg級	おおやま しいじ 大山 壘児	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖工業高校 1年	ホープ	
	優勝	フリースタイル 85kg級	ぬくたに あさひ 温谷 元陽	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖工業高校 1年	ホープ	
	3位	グレコローマンスタイル 57kg級	こうぐち たつとし 高口 尊至	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖工業高校 1年	ホープ	
JOCジュニアオリンピックカップ U15全日本選手権大会	優勝	グレコローマンスタイル 44kg級	えぞえ いっさ 江添 一颯	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖中学校 2年	ホープ	
	優勝	グレコローマンスタイル 57kg級	こうぐち たつとし 高口 尊至	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖工業高校 1年	ホープ	
ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2025	3位	U14女子シングルス	たしろ ゆい 田代 祐唯	佐賀GTC 佐賀西高 1年	ホープ	
2025年全国小中学生アーチェリー大会	優勝	リカーブ60m 男子		唐津ジュニア アーチェリークラブ	ホープ	
第35回全日本室内アーチェリー選手権大会	優勝	リカーブ部門 小中学生男子	まさやま さら 牧山 蒼空	厳木高校1年		
2025年全国小中学生アーチェリー大会	優勝	リカーブ30m 男子	まさやま りく 牧山 凌久	唐津ジュニアアーチェリークラブ 唐津市立海青中 2年	ホープ	
第5回全日本青少年フルコンタクト 空手道選手権大会	優勝	中学2年生男子 中量級(54kg未満)	よねだ そうし 米田 壮志	新極真会佐賀筑後支部 三日月中3年		
第10回 全国少年少女選抜テコンドー選手権大会	2位	ジュニア男子 -55kg級	こが たいし 古賀 大志	古賀道場 龍谷高校1年	ホープ	
	2位	ジュニア女子 -42kg級	とおだ みはな 遠田 美花	古賀道場 鍋島中3年	ホープ	
	3位	ジュニア男子 -45kg級	ながはら さら 永原 蒼大	古賀道場 城西中3年	ホープ	
	3位	カデット女子 -44kg級	さがら うた 相良 諡	古賀道場 城南中3年	ホープ	
	3位	ジュニア女子 -46kg級	かわしま すずは 川島 涼羽	鹿島支部 東部中3年	ホープ	
	3位	ジュニア女子 -49kg級	おかもと ちか 岡本 千佳	テコンクラブ Hama House 佐賀工業高校 1年	ホープ	
	3位	ジュニア男子 -59kg級	よねだ こうき 米多 晃輝	基山支部 第一薬科大付属高校1年	ホープ	
第36回全国都道府県中学生相撲選手権大会	3位	軽量級	ひがしま ひろむ 東島 大夢	北方クラブ 多久高校1年	ホープ	
第43回全日本ジュニア新体操選手権大会	優勝	男子団体	佐賀ジュニア新体操クラブ		(ホープ) 石井 悠斗 荒木 暖人	
第10回全日本男子新体操クラブ選手権大会	優勝	ジュニア団体	神埼ジュニア新体操クラブ		(ホープ) 内川 史琉 大隈 斗希夫	
	優勝	ミックス団体	神埼ジュニア新体操クラブ			